

所の スカップル

横浜市港北区で「ながさわファーム」を営む長澤佑典さん(33)と沙也加さん(33)夫妻は、4棟、7・5坪の温室でイチゴ栽培に力を注いでいる。JA横浜の「ハマッ子」直売所メルカートキ

「農業をやるならイチゴ栽培がやりたい」と提案。ちよびの真、自

た店の他、温室での直売宅直売を始めたこともあり、目玉商品としての期待も込めて、2013年を主軸に市場出荷を行っていたが、沙也加さんが始めた。

佑典さんは、先のこと

長澤佑典さん、沙也加さん

神奈川・JA横浜「ハマッ子」直売所メルカートきた店

【ちば】千葉県旭市の椎名洋ラン園が販売する「シェアオーキッド」が取引先から好評だ。祝いに贈るコチョウランの新しい提案で、六角形の柱状のポットに植えたミディコ

ョウランを5~10本まとめて、一つの寄せ植えのように見せるもの。パーティーなどで飾り付けた後は、1株ずつ小分けして客らに持ち帰ってもらえる。

祝い用コチョウランで新提案



装飾後小分け土産に

千葉県旭市椎名洋ラン園

開店祝いや出版記念パーティーなどに贈るのは、大輪コチョウランが主体で、3本立ちなどにする。受け取った側は飾り終えた後、処分に困ることがあるという。

小ぶりのミディコチョウランを生産する同社が新たに展開する「シェアオーキッド」は、小分けできるのが売りだ。パンフレットでは「ハッピーをシェアしよう」(幸せ

を分けよう)とうたう。同社は、給水管理の間を簡略にできる底面給水ポットを商品化している。既存品は円柱状だが、六角柱のものを開発し「シェアオーキッド」に使っている。

商品は5、7、10本立ちの3通り。立ち数分の六角柱ポットを組み合わせてゼロハンで巻き、ひとまとめにする。ラッピ

ングペーパーで覆い、リボンで縛れば商品が出来上がる。飾り終えた後は、逆の手順で1本ずつに分ける。持ち帰り用に専用の袋も用意した。

千葉県内で2018年秋に開かれた見本市・国際フラワー&プランツE XPOで初めて披露し、発売した。評判が良く、注文が順調だという。

椎名正剛代表取締役は「お祝いでもらった人が、また客にあげることができ、つながりができる。皆さんに面白いと思ってもらい、かなり期待している」と手応えを話す。

直売所初声イベント多彩
神奈川・JAあつぎ農産物直売所「本店と相川」

【神奈川・厚木】1月上旬、「新春フェア」を開催し、ダイコンやハクサイJA管内特産のトどの野菜を詰め込んだ福袋や七草のんだ農産物を販売し、甘酒の振る舞いなどさまざまなイベントをた。

来店者は「豊富の野菜や手作りの



渋柿 ドライフルーツに

JAフル

特産

【山梨・フル】梨)JAフルーツ女性部加工部会は、柿「甲州百目」を作ったドライフルーツの販売を始めた。

天日干しで生産ころ柿とは異なり、コールド渋を抜き、アイスしてから乾燥